2022年度活動概要　　CCR研究会

今年度のCCR研究会では，コロナウイルス感染症の流行もあり，すべての研究会をオンラインで行ってきたが，小学校・中学校・高等学校の英語授業撮影を対面で行うことができた。研究テーマとして，「COLT による授業分析の教育的示唆に関する研究」と「社会文化理論に基づく教室内での学習者の言語使用に関する研究」を掲げ，コロナウイルス感染症の流行が終息に向かいつつあることから， COLTによる授業分析を行うための新規授業収録を行い，授業分析とそのリフレクション方法の開発についての研究を再開すると共に，社会文化理論に基づくオンライン上でのグループ活動に関する研究も進めることとした。また，構成員が本研究会の研究内容に関連した授業分析を用いたリフレクションに関する科研費を獲得することができた。

COLT による授業分析に関する研究としては，小学校における授業分析とリフレクションに関する調査を行い，小学校教育を主とした学会での発表を行った他，中学校での研究について，2023年3月に行われたJCETジョイントセミナーにおいて，CCR研究会名でのポスター発表と，構成員による個人での研究発表を行うことができた。

社会文化理論に基づく教室内での学習者の言語活動の特徴についての研究は，開発したコミュニケーションタスク教材作成を用いた実験を行い，現在継続中である。今後はJACET支部大会等においての研究発表や支部研究紀要への投稿を検討したい。

来年度は授業分析の教育的示唆に関する研究にを深めると共に，これまでの社会文化理論に基づく研究に加え，授業分析とその結果を用いた授業者へのフィードバックに関する研究についても行っていく予定である。また，永年研究を続けてきたCOLTによる授業分析の手法について，近年の英語教育や第2言語習得理論に合わせたコーディング項目の見直しについても着手していきたいと考えている。